

## 「ディスクロージャー優良企業」受賞に寄せて

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 代表取締役社長 相浦 一成

このたびは、2019年（第25回）「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」通信・インターネット部門第1位にご選定いただき、誠にありがとうございます。

歴史と権威ある当制度のなか、弊社が初のエントリーで受賞させていただきましたことは、ひとえに選定に当たられた証券アナリスト、機関投資家の皆様のご支援の賜物と考えており厚く御礼申し上げます。日頃より市場との「建設的な対話」を通じ企業価値向上に取り組んでいる弊社といたしまして大変光栄に存じますとともに、改めて身の引き締まる思いでございます。

弊社は2005年4月の東証マザーズ上場以来、2010年の営業利益10億円、2020年100億円、2030年1,000億円という定量目標を株式市場に示し、その達成のための戦略・施策とその進捗状況について、ステークホルダーの皆様へのご説明と対話を継続してまいりました。四半期毎に重ねた決算説明会の回数はこの2月で60回目を迎え、回を重ねるごとに参加者も増え、闊達な意見交換によりお互いの理解を深める有意義な場となっております。

弊社事業及び取り巻く環境は、テクノロジーの加速度的な進化等に伴い大きく変化し続けております。その中で継続的な成長を実現していくためには、いかなる変化も

受け入れ、その変化にどう企業を適応させていくかを徹底的に思考し、既存ビジネスの進化と新たなビジネスの創出に取り組むことが何より重要であると考えております。

上場当初はeコマース市場を中心に主にクレジットカード決済処理を行っていた弊社が、コンビニ収納・代引き・電子マネー・ウォレットなど多様な決済手段の追加と、与信リスクを伴う加盟店様顧客向け融資のサービスやGMO後払いなどの決済サービスなど、BtoC市場のみならずBtoB、CtoCへと事業の領域とサービスを拡大することで、上場以来14期連続の増収増益を達成してまいりました。

今後も「お客様ファースト」をモットーとし、多様化するニーズを的確に捉え、決済に関わる最適なデジタルトランスフォーメーション・プラットフォームの提供に取り組んでまいります。

このたびの評価結果により、弊社のディスクロージャーにはまだまだ課題も多くあることが浮き彫りとなりました。優良企業に選ばれたことを励みとし、持続的な成長と適正な企業価値の実現に向け、IR活動の一層の充実とクオリティの向上に取り組んでまいります。

引き続き格別のご支援賜りますよう、お願い申し上げます。